

## 最近の外来状況

夏カゼが流行しはじめました。

今年は高熱が3日以上続くカゼが目立ちます。

アデノウイルスなどのウイルスが中心になって悪さをしています。

アデノウイルスはプール熱(ノドと目がやられます)などのカゼを引き起こすつこいウイルスです。

抗生剤は全く効きません。

水痘(みずぼうそう)も保育園、幼稚園などで小さい流行が見られます。

水痘ウイルスは感染力が強いので、お友達からウイルスをもらって吸い込むとキツチリ2週間後に体にブツブツができます。

このブツブツは赤く、後から水疱(水を持つ)になります。かゆいことが多いです。

軽症がほとんどで、特効薬の内服があります。

中等症以上の方は、特効薬を点滴することもあります。



水痘ワクチンは世界標準として2回接種ですが、1回接種してあっても軽く発症することはあります。

ワクチンをうっていても運悪く発症しても、ごくごく軽く短期間で治ることが多いです。

1歳の麻疹風疹混合(MR)ワクチン接種後に水痘、おたふくかぜワクチンを接種するのは賢明なことです。

## 気管支喘息について

気圧・気温の変化が激しいこの季節は気管支喘息の発作が出やすくなります。

見た目が元気でも、お子さんがゼーゼー、ヒューヒューいつている時は、ただちに医療機関を受診しましょう。

最近はお薬が進歩しているので、入院にまで至ることは少なくなりました。



## お知らせ

### ●小児夜間急病センター当番日

6月1日(水) 19:00-22:30(受付)

岐阜市民病院

### ●こども健康セミナー開催

6月18日(土)13:30~ クリニックにて

「胃・十二指腸の病気

—ストレスの多い時代に—」(予定)

